

みずほCustomer Desk Report 2023/02/03号(As of 2023/02/02)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	128.50
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	128.60	1.1013	141.58	1.2392	0.7150
SYD-NY High	129.14	1.1034	141.90	1.2400	0.7158
SYD-NY Low	128.08	1.0885	140.10	1.2222	0.7069
NY 5:00 PM	128.72	1.0911	140.47	1.2225	0.7076
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,053.94	▲ 39.02	日本2年債	▲0.0300%	▲0.0100%
NASDAQ	12,200.82	384.50	日本10年債	0.4900%	0.0100%
S&P	4,179.76	60.55	米国2年債	4.0980%	▲0.0001%
日経平均	27,402.05	55.17	米国5年債	3.4888%	▲0.0121%
TOPIX	1,965.17	▲ 7.06	米国10年債	3.4000%	▲0.0157%
シカゴ日経先物	27,555.00	100.00	独10年債	2.0580%	▲0.2360%
ロンドンFT	7,820.16	59.05	英10年債	2.9930%	▲0.3095%
DAX	15,509.19	328.45	豪10年債	3.5020%	▲0.0650%
ハンセン指数	21,958.36	▲ 113.82	USDJPY 1M Vol	12.02%	▲0.08%
上海総合	3,285.67	0.75	USDJPY 3M Vol	12.95%	▲0.18%
NY金	1,930.80	▲ 12.00	USDJPY 6M Vol	11.84%	▲0.18%
WTI	75.88	▲ 0.53	USDJPY 1M 25RR	▲1.13%	Yen Call Over
CRB指数	271.63	▲ 0.17	EURJPY 3M Vol	12.38%	▲0.32%
ドルインデックス	101.75	0.53	EURJPY 6M Vol	11.69%	▲0.28%

東京	東京時間のドル円は128.60レベルでオープン。FOMCにおける利上げ幅縮小の結果を受け、朝方からドル売りが強まりドル円は128.17まで下落。売り一巡後は時間外米長期金利が下げ渋ったことで、ドルが買い戻される動きにドル円は128.75まで上昇するも上値は重く、その後は売り買い交錯する中、狭いレンジで推移し128.68レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は128.68レベルでオープン。午後にECBやBOEの政策金利決定会合を控えて、方向感の出にくい展開に。128.44レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は128円台後半でスタート。前日のFOMCでは予想通りの利上げ幅となった一方、パウエルFRB議長が記者会見で予想ほど効派ではなかったことを背景にドル安地合い続く中、ドル円は一時128.17まで下押し。その後、若田部日銀副総裁から緩和継続を示唆する発言が伝わったほか、クロス円の底堅い推移にサポートされ一時129円台前半まで反発。早朝はBOEが予想通り50bpsの利上げを発表するが、MPCの一部メンバーが金利据え置きを支持したことを受けて下落したポンド円につれ安となり、安値128.08まで下落するが、次第に対ユーロのドル高が強まり、米金利も下げ渋ると128.90まで反発。午後は128円台半ばでしっかり。明日に米1月雇用統計やISM非製造業景況指数の発表を控え、様子見ムードから小動きとなり、結局、128.72レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台後半でスタート。オセアニア時間では前日高値(1.1002)を上抜けるとストップロス巻き込みながら1.1034まで上昇。しかしECB理事会を控える中、更なる上値追いは限定的で、その後は持ち高調整の売りが優勢となり1.0981までじりじりと下落後、1.0984レベルでNYオープン。朝方はECB理事会で50bpsの利上げ、次回3月も50bpsの利上げを実施する意向を示すも、3月以降の利上げ打ち止め期待が強まり、ユーロの売りが加速し、一時1.0885まで下落。イベント後の売り買い一巡後、1.0911レベル前半でレンジトレードとなり、1.0911レベルでクローズ。

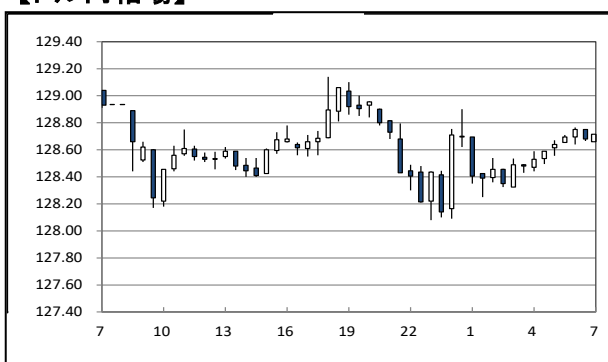
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月2日	22:15	欧	ECB主要政策金利	2月2日 3.0%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	1月28日 183k
2月3日	00:00	米	製造業受注(前月比)	12月 1.8%
	00:00	米	製造業受注(除輸送)	12月 -1.2%
	00:00	米	耐久財受注(前月比)・確報	12月 5.6%
	00:00	米	耐久財受注(除輸送用機器)・確報	12月 -0.2%

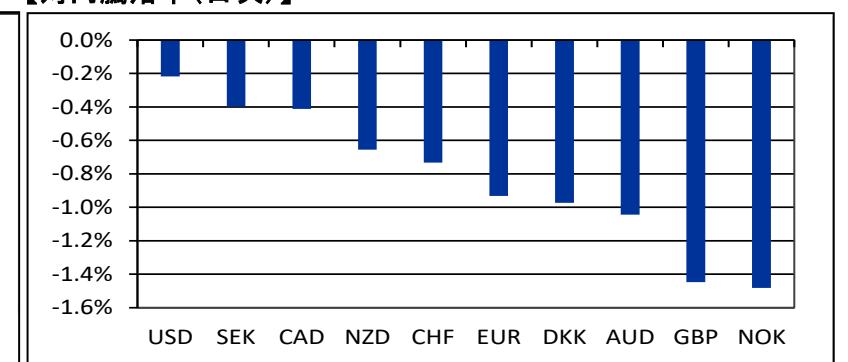
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月3日	19:00	欧	PPI(前月比/前年比)	12月 -0.4%/22.4%
	22:30	米	非農業部門雇用者数変化	1月 189k
	22:30	米	失業率	1月 3.6%
	22:30	米	平均時給(前月比/前年比)	1月 0.3%/4.3%
2月4日	00:00	米	ISM非製造業景況指数	1月 50.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	127.00-130.00	1.0800-1.095	139.00-141.00

【マーケットインプレッション】

東京時間のドル円は128.60レベルでオープン。FOMCの結果を受けドル売りが強まり128.17まで下落するも、米金利が下げ渋ったこともありオープンと同水準まで値を戻し海外時間に渡った。海外時間に入るとクロス円の底堅い推移にサポートされ一時129円台まで上昇。その後、BOEとECBが市場予想通り50bp利上げを実施するも中身がハト派な内容だったことを受け、欧州通貨が売られる地合いにドル円も128円台前半まで下落。ただ、徐々にドル買いが優勢になるとドル円も128円後半まで上昇し結局128.72レベルでクローズした。

本日のドル円相場は底堅く推移すると予想する。

本日は米1月雇用統計が注目材料となる。直近のFOMCでは労働市場の力強さが確認されており、弱いデータが出にくいと想定される為、ドル円は底堅く推移すると予想する。ただ、仮に弱いデータとなった場合にはダウンサイドリスクが大きいと想定され留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・大橋